

令和4年度 湧別中学校の経営方針

I 経営の基本理念

『 教学半 』（教えるは学ぶの半ばなり）

～教師が変われば子どもが変わる・子どもが変われば学校が変わる・学校が変われば地域社会が変わる～
＜最高の教師は子どもの心に火をつける＞

子どもに教えるためには、教師は常に学ばなければならない。子どもを教え育てるために我々教師は、何をどのように教え・どのような力を育むかについて、未来を見据えて学び実践していくことが重要になる。子どもたちが「自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓ひらき、持続可能な社会の創り手となることができる」よう、よりよく学び、よりよく生きようとする子どもを育てることが、よりよい学校風土醸成につながり、よりよい地域社会がつくられる。地域とともにある学校づくり・地域の核となる学校づくりに向けて、経営の基本理念を上記の通り掲げる。

II 令和4年度の重点目標(めざす生徒像)

『 仲間とともに学び合い、課題を解決する生徒の育成 』

→学び合い のある日常 学び合う姿

※ 生徒会活動テーマ 『 繋(きずな) ～みんなの和～ 』

III 経営の重点

『 学びの質を向上させる教育活動の推進 』

～ 「 新たな学びの実現 」に向けて ～

IV 教育活動推進の視点

1 学びの質を向上させる教育活動の推進

(1) 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり

- | | |
|----------------------|-----------------------------------|
| ① 生徒の意欲を高める課題づくり | → 主体的な学びへの「共有」「ジャンプ」課題 |
| ② 生徒たちが学び合う場面づくり | → 対話的な学びへの「コの字」「4人グループ」環境 |
| ③ 生徒たちがアウトプットする場面づくり | → 深い学びへつなげる論理的思考力向上・「生徒が主人公の授業」構築 |

(2) 根拠を明確にし、自分の考えや思いを表現する学習活動を取り入れた授業づくり

- ① 根拠の明確化
- ② 読解記述力の向上
- ③ 振り返り(個々の学びの捉え直し)の重視

(3) 授業改善・授業研修の推進

- ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた校内研修の発展的推進
- ② ICT活用の充実
- ③ 生徒の変容に視点をおいた事後研修の充実
- ④ 校内研修における湧別小学校との接続
- ⑤ 指導と評価の一体化、観点別評価研修の充実

(4) 学びをつなぐ取組の充実

- ① 家庭学習の習慣化へつなぐ指導の充実（個に応じた課題の明示）
- ② 学びをつなぐ機会の充実（放課後・長期休業中の学習サポート）
- ③ 家庭教育に関する学習機会の充実（生活向上啓発、SNS 等に関する学習機会）

2 心身の健やかな成長を促す教育の推進

(1) 学習規律を確立し、自ら律することのできる生徒の育成

- ① 時を守り、場を清め、礼を正すことのできる生徒
- ② 規則正しく生活し、仲間を大切にできる生徒
- ③ 地域に応援される学校

(2) 自己肯定感や支持的風土を高める環境づくり

- ① 生徒指導の3機能(自己決定の場、自己存在感、共感的人間関係)を意識した日常指導の充実
- ② フレンドシップ(相互信頼)・スポーツマンシップ(相互尊重)・パートナーシップ(相互成長)を意識した日常指導の充実
- ③ 対話による温かい人間関係を築き、互いに認め合い、高め合うことのできる風土の育成

3 豊かな心と人間性を育む教育の推進

(1) キャリア教育の充実

- ① 中高一貫教育の内容の精選
- ② 特別活動等の充実

(2) 道徳教育の充実

- ① 『考え、議論する道徳』授業の充実
- ② いじめの防止や不登校への取組の充実

(3) ふるさと教育の充実

- ① 総合的な学習の時間における、探究的な「ゆうべつ学」の推進
- ② 地域に貢献する体験活動の充実（生徒会による募金活動など）

4 学びを支える家庭・地域との連携・協働の推進

(1) 生徒指導上の諸問題に対する取組の充実

- ① 情報共有の充実(生徒指導交流会)
- ② いじめ不登校等対策委員会の推進
- ③ 外部機関との連携

(2) ふるさに根ざした教育活動の充実

- ① 地域の教育資源を活用した体験学習の充実
- ② 地域の良さを体感する学習の充実（ゆうべつ学の推進）

5 年間指導計画の発展的充実

(1) 年間指導計画の見直しと改善

- ① 各教科等における年間指導計画等の見直しと、ゆうべつ学との教科横断的カリキュラムマネジメントの推進
- ② 学習評価に関する研修および評価方法の具体的見直し（単元を通して身につけさせたい力が明らかになっているかなど、評価規準、評価計画等を見直す）

6 義務教育学校 R5 開校に向けた取組の推進

(1) 湧別小学校との連携によるカリキュラムマネジメントの充実

- ① 目指す子ども像の方向性の共有
- ② 学校経営方針の方向性の共有
- ③ 研修内容の方向性の共有

(2) 連携組織の推進

- ① 開校準備委員会のさらなる充実
- ② R4共通実践項目の共有（学校評価、PTA 活動など）
- ③ 義務教育学校開校に向けたタイムスケジュールの設定
- ④ 乗り入れ・サポート授業の実施（小学外国語・音楽・体育、中学校美術）